

構造活性フォーラム 2008

「標的蛋白質志向のケミカルバイオロジーと構造活性相関」

創薬における構造活性相関研究を行う上で、標的となる蛋白質やそのネットワークを特定し、それらの生理的機能を体系的に理解することは、今後更に重要度を増していくと考えられます。今回のフォーラムでは、化学の視点から生物学に切り込むケミカルバイオロジーに主眼を置いて、最新の研究を学ぶための講演・討論を企画しました。

ケミカルバイオロジーを多角的に捉えるために、構造活性相関研究との関連、蛋白質-リガンド相互作用への実験的・計算科学的アプローチ、創薬標的として重要な膜蛋白質の構造生物学、リガンド結合構造 *in silico* 予測などの側面からの講演・討論を行います。創薬現場の研究者を始め、本領域にご関心ある皆様多数のご参加をお待ちしております。

日 時: 平成 20 年 6 月 20 日 (金) 10:25 17:35

会 場: 北里大学薬学部コンベンションホール

所在地: 東京都港区白金 5-9-1, 電話: 03-3444-6191, <http://www.pharm.kitasato-u.ac.jp/campus.html>

主 催: 日本薬学会構造活性相関部会

協 賛: 日本薬学会医薬化学部会, 日本薬学会生物系薬学部会, 日本薬学会薬学研究ビジョン部会, 日本化学会, 日本農芸化学会, 有機合成化学協会, 日本分析化学会, 日本農薬学会, 近畿化学協会, Combinatorial Chemistry 研究会

講 演:

10:30 ~ 11:35 藤井信孝 (京都大学大学院薬学研究科)
ケミカルバイオロジー: 情報から制御へ

11:35 ~ 12:40 大和隆志 (エーザイ株式会社創薬第二研究所)
遺伝子ならびにタンパク質の定量的発現比較解析を構造活性相関研究へ応用する

14:10 ~ 15:15 榊原康文 (慶応義塾大学理工学部)
ゲノムワイドなタンパク質化合物相互作用の統計的予測

15:25 ~ 16:30 宮野雅司 (理化学研究所播磨研究所)
組み換え体ヒト由来膜タンパク質の立体構造: 放射光結晶解析の創薬寄与への新たな飛躍へ

16:30 ~ 17:35 梅山秀明 (北里大学薬学部)
高能率インシリコパイプライン研究とドッキング医薬品候補化合物の選択

講演に先立ち、10:25 より、構造活性相関部会長から開催の挨拶をいたします。

講演後、講師を囲んで簡単な懇親会を開催します (無料) (19:00 まで)。本館 1F 学生食堂。

申込み締切り: 定員 (150 名) になり次第締切り。

参加費: 一般 6,000 円, 学生 2,000 円。

参加申込み方法:

氏名, 所属, 連絡先 (住所, 電話, e-mail アドレス) を明記の上, 下記 e-mail アドレスまでお申込み下さい。お申込みに際しては, e-mail の件名を「フォーラム参加申込み」として下さい。参加費の事前振込み (郵便振替または銀行振込) をお願いいたします。

郵便振替: ゆうちょ銀行 青葉台店

口座番号: 00280-5-134001, 口座名: 構造活性フォーラム 2008 実行委員会

銀行振込: 三井住友銀行 青葉台支店 (普通預金)

店番号: 579, 口座番号: 7552972, 口座名: 構造活性フォーラム 2008 実行委員会代表久保寺英夫

申込みおよび問合せ先:

構造活性フォーラム 2008 実行委員会 代表 久保寺英夫

住所: 〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町 1000

田辺三菱製薬株式会社 創薬化学研究所 化学第一部 分子設計グループ

連絡先: 電話: 045-963-4290, Fax: 045-963-3857, E-mail: kubodera.hideo@mu.mt-pharma.co.jp

Home Page: http://bukai.pharm.or.jp/bukai_kozo/forum2008.html